



* 本資料は、2014年9月30日に米国で発表されたプレスリリースを翻訳したものです。

報道関係各位

2014年10月6日
アーバーネットワークス株式会社

Arbor Networks、Arbor CloudSM DDoS 防御サービスのミティゲーション能力を 数テラビットレベルまで拡大する大幅な機能拡張を発表

世界で最も複雑かつ要求の厳しいネットワークに対応する DDoS 対策ソリューション

米国マサチューセッツ州バーリントン・エンタープライズやサービス・プロバイダのネットワーク向けに分散型サービス拒否 (DDoS) 攻撃や高度な脅威の対策ソリューションを提供するリーディング・プロバイダ [Arbor Networks, Inc.](#) (以下「Arbor Networks」) は、本日、Arbor CloudSM DDoS 防御サービスのミティゲーション能力を 2015 年中旬までに 1.5 Tbps 以上に拡大する大幅な機能拡張プログラムを発表しました。Arbor Networks はミティゲーション機器メーカーとして、将来的には必要に応じて数 Tbps まで即座に機能を拡張することを可能にする予定です。

2014 年の DDoS 攻撃のテーマは、ドメインネームサーバー (DNS) や [ネットワーク タイムプロトコル \(NTP\)](#) といったまったく異質なネットワーク・インフラストラクチャ・コンポーネントのリフレクション／増幅機能を悪用した大規模攻撃です。Arbor Networks の ATLAS[®] 脅威監視インフラストラクチャは、300 社以上のサービス プロバイダなどのインターネット事業者から、合計 90 Tbps にも上るグローバルトラフィックインテリジェンスを収集していますが、ATLAS によると、[2014 年前半](#)だけで、100 Gbps を超える DDoS 攻撃が 100 件以上発生しています。このように、DDoS 攻撃の規模がかつてないペースで拡大しており、組織は防御の考え方を根本的に変える必要があります。

Arbor Networks の機器とサービスは世界中に広く導入されているため、同社は [リフレクション/増幅技術](#) を利用した攻撃を含めた、非常に大規模かつ複雑な分散型 DDoS 攻撃のミティゲーションについて深い専門知識を有しています。その専門知識は、米国連邦通信委員会 (FCC) の連邦諮問委員会である [通信セキュリティ・信頼性・相互運用性協議会 \(CSRIC\)](#) によっても認められ、同協議会が提出した [サーバーベースの DDoS 攻撃対策](#) に関する最終報告書では、Arbor Networks による DDoS インシデント対応のベストプラクティスが、[DDoS 攻撃に対する 6 段階の準備と対応](#) として採用されました。

Arbor Networks プレジデントのマシュー・モイナハン (Matt Moynahan) は、「大規模化の傾向は明らかで、非常に大きな攻撃がこれからも続くでしょう。攻撃ツールが簡単に入手できるようになったことが、攻撃実行を容易にしています。このような傾向は、企業や ISP など、ターゲットとなる可能性のある組織にとって重大なリスクとなります。弊社は DDoS 対策機器メーカーであり、Arbor Cloud のミティゲーション能力を即座に拡張できます。この機能拡張プログラムの実施により、Arbor Cloud のお客様は、弊社がはるか将来にわたってお客様のニーズを満たせるミティゲーションインフラストラクチャを備えていることに確信を持っていただけます」と述べています。

[Arbor Cloud](#)

Arbor Cloud のハイブリッドモデルは、業界随一の DDoS 対策のベストプラクティスとして認められています。Arbor Cloud のハイブリッド防御では、プレミスとクラウドの間で DDoS ミティゲーションが強固に統合されているので、企業は、ボリューム型、アプリケーションレイヤ型、ステートを枯渇さ



せる攻撃(ファイアーウォールや IPS を標的とする攻撃など)、混合型、マルチベクトル型など、多様な DDoS 攻撃から保護されます。

オンプレミスの [Pravail® Availability Protection System](#) は非常に使いやすいので、企業の既存の IT スタッフがミティゲーションを確実に制御できます。また攻撃の規模が大きく、ローカルにブロックできない一定の規模に達した場合は、クラウドに対して即座にアラートを発することができます。企業とクラウドミティゲーション機器の間は、Arbor Networks 独自の Cloud Signaling 技術により自動的に接続されるので、ミティゲーション開始までの時間が短縮されます。重要なネットワークリソースの可用性確保には、このような統合が最も適切な方法です。Arbor Cloud のお客様は、Arbor Networks DDoS ミティゲーションの専門家が常駐する 24 時間年中無休のセキュリティオペレーションセンターによってサポートされます。

< 推薦者の声 >

Frost & Sullivan 社、シニアインダストリーアナリスト、クリス ロドリゲス氏

「Frost & Sullivan では、オンプレミス防御とクラウドベースの防御の両方を兼ね備えたハイブリッド型の DDoS 防御を強く推奨しています。Arbor Cloud は、そのような多層防御を提供するソリューションであり、Arbor Networks の 10 年以上に及ぶ経験に裏打ちされ、同社のクラス最高の技術がオンプレミスとクラウドの両側で利用されています。高可用性の確保を必須条件とする組織は、Arbor Cloud をぜひ検討されることをお勧めします。」

Infonetics Research 社、主席アナリスト、ジェフ ウィルソン氏

複雑なグローバル ネットワークを運用する企業や、Web プロパティとアプリケーションのダウンが大きな損害につながる企業にとって、Arbor Cloud は、検討すべき最有力候補です。」

Arbor Networks について

Arbor Networks は DDoS 攻撃や高度化する脅威から世界の大手企業および大手サービス・プロバイダのネットワークを安全に守ることを支援しています。Arbor Networks は全世界のエンタープライズ、キャリア、モバイルの市場において DDoS 保護ソリューションを提供する世界をリードする主要ソリューションプロバイダです (Infonetics Research 社調べ)。高度化する脅威に対する Arbor Networks のソリューションは、パケットキャプチャと NetFlow 技術を組み合わせることで、ネットワーク全体を可視性し、マルウェアや悪意のあるインサイダーの脅威を迅速に検出し、駆除することを可能にします。Arbor Networks はまた、動的なインシデント対応、履歴分析、視認性、フォレンジクスについても市場をリードする分析機能を提供しています。Arbor Networks は、企業のネットワークやセキュリティの担当者がセキュリティのエキスパートになり、企業のセキュリティ強化を実現することを目指しています。Arbor Networks の目標は、お客様がセキュリティ問題を迅速に解決し、事業リスクを低減できるよう、ネットワーク上の脅威の視認性とセキュリティ・インテリジェンスの提供を可能することです。

Arbor Networks の製品およびサービスについて詳しく知りたい方は、Arbor Networks の [日本語サイト](#) を参照してください。また、業界唯一の革新的なインターネット監視システム ATLAS® のデータに基づく調査、分析および知見については、[ATLAS セキュリティポータル](#) (英文) をご覧ください。

商標について: Arbor Networks、Peakflow、ArbOS、How Networks Grow、ATLAS、Pravail、Arbor Optima、Arbor Cloud、Cloud Signaling、Arbor Networks のロゴ、「We see things others can't.™」および「Arbor Networks: Smart. Available. Secure.」は Arbor Networks, Inc. の商標です。その他のブランド名はすべて各所有者の商標です。